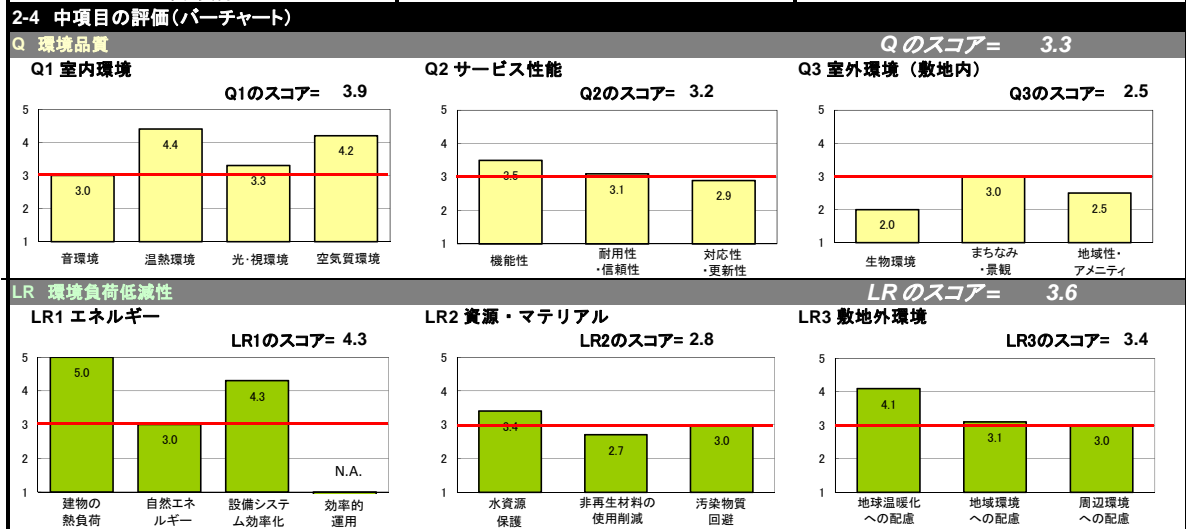
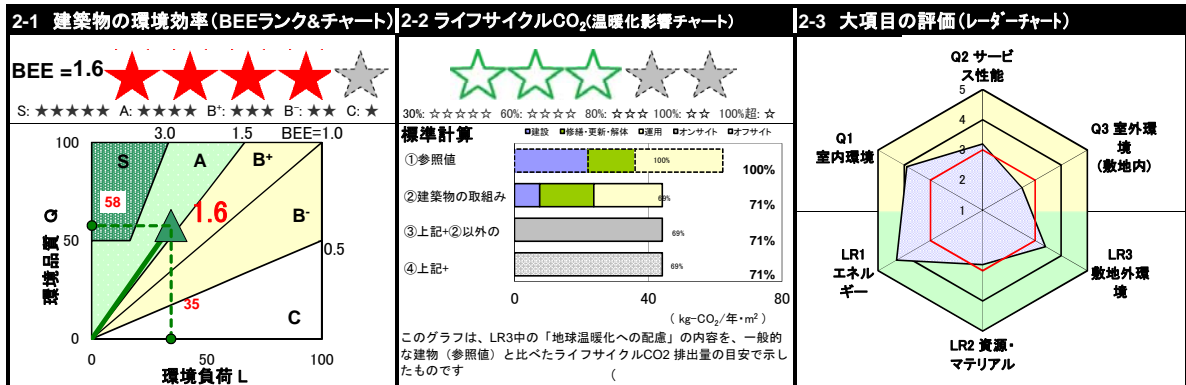


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Tステージ日南公園	階数	地上14F
建設地	愛知県豊田市日南町4丁目32番他1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	314 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2014年6月30日
敷地面積	3,061.45 m <sup>2</sup>	作成者	岡田 ヨシカズ
建築面積	922.21 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月30日
延床面積	6,662.32 m <sup>2</sup>	確認者	岡田 ヨシカズ



### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.1</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">101.9 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出  
 ④地域材の活用  
 Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	果独自基準	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.9</b>
<b>1 音環境</b>								<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>								
1 室内騒音レベル				3.0	0.15	3.1	1.00	
2 設備騒音対策				3.0	0.50	3.0	0.50	
<b>1.2 遮音</b>								
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
<b>1.3 吸音</b>								
<b>2 温熱環境</b>								<b>4.4</b>
<b>2.1 室温制御</b>								
1 室温				1.0	0.35	5.0	1.00	
2 負荷変動・遅延制御性				1.0	1.00	5.0	1.00	
3 外皮性能				1.0	1.00	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>								
<b>2.3 空調方式</b>								
<b>3 光・視環境</b>								<b>3.3</b>
<b>3.1 昼光利用</b>								
1 昼光率				3.0	0.25	3.5	1.00	
2 方位別開口				3.0	0.30	4.0	0.50	
3 昼光利用設備				3.0	-	3.0	0.30	
4 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	0.20	
<b>3.2 グレア対策</b>								
1 照明器具のグレア				2.0	0.30	3.0	0.50	
2 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00	
3 織り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>								
<b>3.4 照明制御</b>								
<b>4 空気質環境</b>								<b>4.2</b>
<b>4.1 発生源対策</b>								
1 化学汚染物質				4.2	0.25	4.2	1.00	
2 アスベスト対策				5.0	0.60	5.0	0.63	
3 タニコヒ等				5.0	1.00	5.0	1.00	
4 レンジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>								
1 換気量				3.0	0.40	3.0	0.38	
2 自然換気性能				3.0	0.50	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4 結露計算				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>								
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>								<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>								<b>3.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>								
1 広さ・収納性				3.0	0.40	3.6	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	4.0	0.60	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	4.0	1.00	
<b>1.2 心理性・快適性</b>								
1 広さ感・景観				3.0	0.30	3.0	0.40	
2 リフレッシュスペース				-	-	3.0	0.50	
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>								
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.30	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>								<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>								
1 耐震性				3.1	0.31	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.48	-	-	
3 免震・制振性能				3.0	0.80	-	-	
4 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>								
1 躯体材料の耐用年数				3.5	0.33	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				5.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				2.0	0.09	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				4.0	0.15	-	-	
7 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性				3.0	0.19			
1	空調・換気設備			3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20			
3	電気設備		②	3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20			
5	通信・情報設備			3.0	0.20			
3 対応性・更新性				3.0	0.29	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり						2.8	0.50	
1	階高のゆとり					4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ					1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00			
1	空調配管の更新性		②	3.0	0.17			
2	給排水管の更新性			3.0	0.17			
3	電気配線の更新性			3.0	0.11			
4	通信配線の更新性			3.0	0.11			
5	設備機器の更新性			3.0	0.22			
6	バックアップスペース			3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		●	③	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		●	④	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●	④	2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.3
1 建物の熱負荷抑制				5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				4.3	0.40	-	-	4.3
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				5.0	-	-	-	
集合住宅の評価				4.3	-	-	-	
4 効率的運用				-	-	-	-	-
4.1	モニタリング			-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水			4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●	②	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組	●		4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3	冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			①	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	●		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	●		5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音	●		3.0	1.00	-	-	
2	振動	●		-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

**重点項目スコアシート**

(仮称)Tステージ日南公園

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-あいち(2011年度版)

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2011v.1.3\_aichi

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.1</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.1	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化  
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和  
重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 計画建物は、日南公園に面し、近隣の風景になじむ緑地や中高木を配置し入居者のみならず、地域住民においても、心地よい空間を提供することを考えた。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 遮音サッシュT1を採用して音環境に配慮し、省エネ4等級・空気環境3等級を確保し、明るく清潔な室内環境を目指した。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 躯体劣化3等級など、建物の耐用年数の向上に努め、将来の生活様式の変化に対応できる計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 中高木を多く植樹し、傾斜地に地被植物を植えて、生活環境に潤いを与えることに努めた。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 省エネ4等級の断熱仕様、エコジョーズ給湯器の採用、一部の共用照明にはLEDを採用し環境負荷低減に努めた。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 エコ商品・リサイクル商品の利用に心がける。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 周辺環境に対し、適切な建物離隔距離をとり、環境悪化の低減を図る。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。